

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和05年12月18日

計画の名称	鶴岡市における水の防災・安全対策の実現計画（防災・安全）（重点計画）													
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	鶴岡市													
計画の目標	下水道整備することにより、安全・安心な市民生活環境を実現する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		2,490	A	2,490	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R2当初）	（R4末）	（R6末）
1	浸水対策における整備率を69%（R2）から71%（R6）に増加させる			
	浸水対策における整備率	69%	70%	71%
	整備済み面積（ha）/下水道全体計画（雨水）区域面積（ha）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	○	避難行動要支援者名簿の提供	○

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	鶴岡市	直接	鶴岡市	管渠（ 雨水）	新設	雨水幹線枝線整備（日枝 第 3 排水区）（浸水対策）	□ 1300mm × 900mm L=0.3km	鶴岡市	■	■	■			110		-
	A07-002	下水道	一般	鶴岡市	直接	鶴岡市	管渠（ 雨水）	新設	雨水幹線枝線整備（大山 第 2 排水区）（浸水対策）	路面復旧一式	鶴岡市	■					10		-
	A07-003	下水道	一般	鶴岡市	直接	鶴岡市	管渠（ 雨水）	新設	雨水幹線枝線整備（大山 第 1 排水区）（浸水対策）	詳細設計、工事一式	鶴岡市			■	■	■	250		-
	A07-004	下水道	一般	鶴岡市	直接	鶴岡市	管渠（ 雨水）	新設	雨水幹線枝線整備（茅原 第 1 排水区）（浸水対策）	路面復旧ほか一式	鶴岡市	■	■	■			70		-
	A07-005	下水道	一般	鶴岡市	直接	鶴岡市	管渠（ 雨水）	新設	雨水幹線枝線整備（新斎 部排水区）（浸水対策）	□ 1000 ～ 2000mm × 900 ～ 1000 mm L=0.7km	鶴岡市	■	■	■	■	■	350		-

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-006	下水道	一般	鶴岡市	直接	鶴岡市	管渠（ 雨水）	新設	雨水幹線枝線整備（道形 第 1 排水区）（浸水対策 ）	□ 1400 ～ 3000 × 1200 ～ 2500mm L=0.5km	鶴岡市			■	■	■	280		-
	A07-007	下水道	一般	鶴岡市	直接	鶴岡市	管渠（ 雨水）	新設	雨水幹線枝線整備（茅原 第 2 排水区）（浸水対策 ）	1100 ～ 2000mm × 1000 ～ 1900mm L=1.0km	鶴岡市	■	■	■	■	■	820		-
	A07-008	下水道	一般	鶴岡市	直接	鶴岡市	管渠（ 雨水）	新設	雨水幹線枝線整備（九分 溝排水区）（浸水対策）	詳細設計、用地補償、工事一 式	鶴岡市	■	■	■	■	■	260		-
	A07-009	下水道	一般	鶴岡市	直接	鶴岡市	管渠（ 雨水）	新設	雨水幹線枝線整備（日和 田排水区）（浸水対策）	詳細設計、用地補償、工事一 式	鶴岡市	■	■	■	■	■	200		-
	A07-010	下水道	一般	鶴岡市	直接	鶴岡市	-	-	雨水管理総合計画	鶴岡処理区	鶴岡市			■	■	■	140		-
										小計						2,490			
										合計						2,490			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03			
配分額 (a)	185	205			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	185	205			
前年度からの繰越額 (d)	64	42			
支払済額 (e)	207	148			
翌年度繰越額 (f)	42	99			
うち未契約繰越額(g)	0	18			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	7.28			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

整備計画変更理由書

鶴岡市

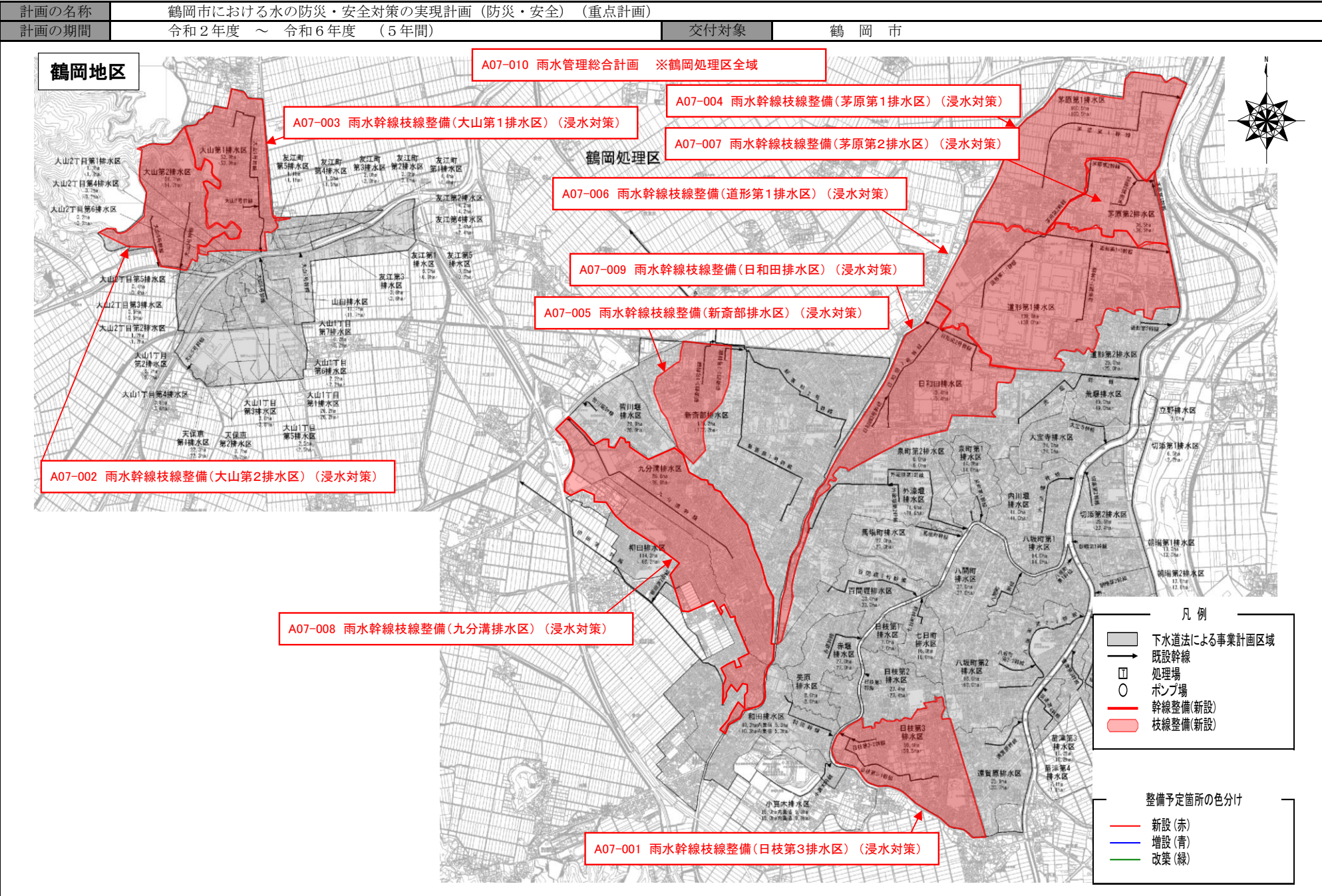
○変更理由

整備率の見直しにより変更するもの

○変更内容

要素事業番号	要素事業名	要素事業の新設・削除・変更	変更内容・事業内容(具体的に記載してください)
その他変更箇所			
変更項目		変更内容	
計画の成果目標(定量的指標) 定量的指標ので意義及び算定式		浸水対策における整備率を69%(R2)から71%(R6)に増加させる	
交付金の執行状況		令和3年度の交付金の執行状況を記載した。	

(参考図面) 社会資本整備総合交付金



事前評価チェックシート

計画の名称： 鶴岡市における水の防災・安全対策の実現計画（防災・安全）（重点計画）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 事業の具体性など事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 事業の実施について、住民等の間で合意形成が行われている。	○
III. 計画の実現可能性 計画期間中の計画管理（モニタリング）体制が適切である。	○